

硫黄島 平成 17 年（2005 年）年報

○ 平成 17 年の概況

ごく弱い噴気や島の周囲に変色水が確認されましたが、火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

○ 火山情報の発表状況

火山情報の発表はありませんでした。

○ 噴気の状態

11 月 28 日に海上保安庁が上空から行った観測によると、島の北東部、日の出浜の離岩温泉跡付近から少量の噴気が確認されました（図 1）。

硫黄島は島内に多くの噴気地帯、硫気孔がある火山島で（日本活火山総覧（第 3 版）による）、このような噴気活動は火山活動の活発化を示すものではありません。

○ 変色水の状況

3 月 9 日及び 11 月 28 日に海上保安庁が上空から行った観測によると、島の周囲全域で黄緑色の変色水が確認されました（図 2）。3 月の観測では北岸の北ノ鼻付近で茶褐色の変色水も確認されました。硫黄島ではたびたび変色水が確認されており、2004 年 10 月 13 日の同庁の観測でも確認されています。

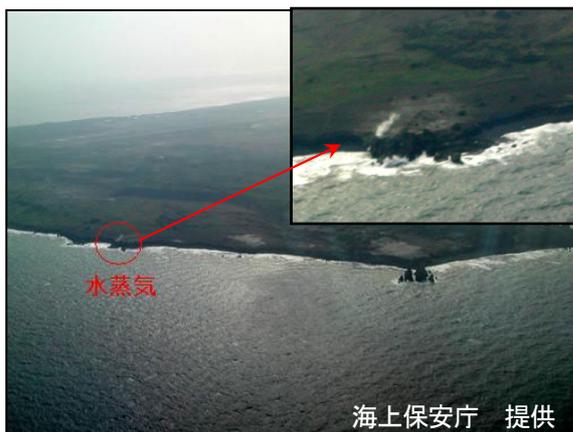


図 1 硫黄島 北東岸付近と離岩温泉跡付近拡大写真
(2005 年 11 月 28 日、北西上空から撮影)



図 2 硫黄島 変色水の状況
(2005 年 11 月 28 日、南西上空から撮影)

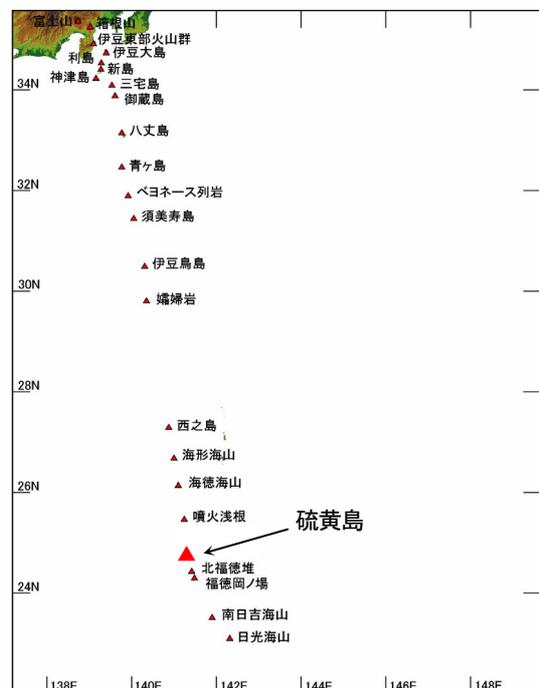


図 3 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と硫黄島

※この資料は、海上保安庁のデータ等を利用して作成しています。